令和２年度 第３回総合教育会議　会議録概要

１　開催日時　　令和３年３月１９日（水）　１０：００～１１：１０

２　場　　所　　飯山市役所　３階　３１号会議室

３　出 席 者

飯山市長	足立正則
教育長	長瀬　哲
同職務代理	吉越邦榮
委員	西條三香
委員	小林輝紀
委員	松木英文

４　出席した事務局職員

教育部長	常田新司
文化振興部長	桑原雅幸
子ども育成課長	岩崎　敏
課長補佐兼学校教育係長	大口なおみ
学校教育係	佐藤優季子

５　会議の経過及び発言

１　開　　会

子ども育成課長）

おはようございます。ただいまから、令和2年度第3回目となります、総合教育会議を始めさせていただきます。なお、会議内容及び資料等の一部につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき非公開とさせていただきます。また、本日小林輝紀教育委員におかれましては出張中ということでございまして、オンラインの参加となりますのでよろしくお願いいたします。それでは次第に基づきまして、足立市長よりごあいさつをお願いします。

２　あいさつ

市長）

みなさんおはようございます。令和2年度末を迎えた訳でございますが、それぞれお忙しい中出席いただきましてありがとうございます。第3回の総合教育会議ということでお願いをしたいと思います。

さて、みなさん既にご存知だとは思うのですが、大変長きに亘りまして教育長として飯山市の子ども達のためにご尽力いただきました長瀬教育長がこの3月末をもって任期満了となりましてご退任されます。長瀬教育長のご功績につきましてはたくさんあり申すまでもなく、みなさんよくご存じだと思います。私が教育長と一緒にやらせていただいて、なんと言っても私学の経営のご経験があり、飯山市の教育につきまして教育大綱をしっかり定めてその中で目標数値を設定しそれに向かって現場の先生方にも努力いただくとい

うことで今までにはない新しい教育の基盤を作っていただいたというふうに思っております。おかげさまで中学生になると全国平均よりも4ポイントほど高い成績となりました。今まで全国に対して生徒の力がどのくらいあるのか継続的に分からなかった部分もありますが、民間の試験を導入されて客観的にそれを調べながら、現場へもそれを反映していました。また、教育長が以前からおっしゃっていますが、15の春に自分で決断をしていくということを着実に進めてこられた訳で、大変有難く思っております。それからもう1つは小学校の統合の関係でございまして、これは長い間の懸案であった訳でございますが、教育委員のみなさま方にも大変ご尽力いただきまして、統合について方向性を定めていただきまして、新年度からは城北校区の小学校について設計が始まるという段階です。これにつきましても方向性を示していただき、飯山市の将来の義務教育の形を作っていただいたということでお礼を申し上げます。

長瀬教育長のご後任ですが、松木英文委員さんを今日午後の議会最終日に議案を上程し同意をいただく団取りとなっておりますのでよろしくお願いします。松木委員さんの後任に1人加わっていただかなければなりませんので、同じく本日の議会で平野弘蔵先生をご同意いただくということで議案を上程していきますのでよろしくお願いします。

私も子ども達の教育が一番重要だと思っている訳ですが、ぜひ引き続きみなさま方のお力をお借りしながら進めて行ければと思っておりますのでよろしくお願いします。

長瀬教育長）

みなさん改めておはようございます。今市長さんから身に余るお言葉をいただきました。私が一番うれしかったのは、市長さんが信頼してくれたことです。これが全てで、これがなかったら私のやりたいことがほとんどできなかったです。それが根底にありましたので、いろいろな場所で思い切ってできたことが一番良かったです。市長さんは信頼して任せてくれたことで、小言を言われた記憶がありません。それだけに非常に手を抜けない、住民に対しても、誠心誠意やっていかないといけない、そういう目に見えないプレッシャーはありましたが、最初に申した信頼、これが私は嬉しかったです。ですから、ぜひこれからも市長さんのそういう思いをくみ取りながら残されたみなさんにも進めていただければ有難いと思います。

それから、松木先生とはもう長い付き合いで、口はあまり良くないのですが、人柄は心の底に温かいものを常に持ちながらやっている先生だなと常々感じております。間違いなく市長さんの思いを引き継ぎながら進めていただけると思っています。

最後になりますが、まだ、定例教育委員会がありますので、またそこで述べたいと思いますが、3回目の総合教育会議で大きな方向を決めていただければ有難いと思っております。

それから、平野先生から貴重なご意見いただいておりますので、また後で松木先生、委員のみなさんにお伝えしたいと思いますのでよろしくお願いします。以上です。

3　議　　題

1）飯山市第2次教育大綱（案）について　　【資料1】

事務局から説明

市長）
　今説明してもらった訳でありますが、みなさんの方からご意見ございますでしょうか。既にみなさんご検討いただいていますのでよろしいでしょうか。それではこれで第２次の教育大綱を定めまして進めていけるかと思いますのでよろしくお願いします。

教育部長）
　今後の進め方ですが、これで製本とさせていただきますので、決裁を受けて印刷をしていきたいと思います。間に合えば年度内にお配りさせていただきたいと思います。

資料１－２について
　事務局から説明

市長）
　これについて、何かありますか。
　これは、家庭へ配るのですか。

教育部長）
　学校を通じて家庭へ配ります。

市長）
　昔、私が５・６年生頃学校で先生が、１冊の手帳みたいになっているのだけれど、その日の夕方からの過ごし方を毎日書いて提出させられていたと思う。何時から何時までテレビを見てというようなのを毎日出さなければいけなかった。をれをまた先生が見ていたが、５０人近くいたのに先生は良く見ていたと思う。そういうのは今はあまりないのですか。

松木委員）
　今はやっていないね。やるとすれば学校で統一してやると思うが、今はやっていない。

吉越職代）
　昔は学習時間はどうしているかとかテレビの時間とか把握して管理していたと思うが、今、子ども達も習い事とかスポーツをしているので、数が少なくても管理や指導できないと思う。

松木委員）
　その頃ちょうどテレビが普及してきて、子どもの家庭生活の影響とかを考えていたのかね。

市長）
　そうですね。ちょうどテレビが普及したころで、暇さえあればテレビばかり見ていましたね。習慣になれば自分でコントロールできるようになるのですけどね。
　他に何かありますか。無ければこれで進めるということでよろしいですか。

２）新たな学校づくり計画の今後の推進について　　【資料２】
事務局から説明

市長）
すぐに実施設計に入るのではなく、どのような学校にするのかという基本設計についてポロポーザルをしてもらうということでございまして、大まかなイメージとか盛り込む機能、特徴を提案頂いてその中から目指す学校の基本設計をまず決めるということですね。その後、それに基づき、建設基本設計の策定ということでおおよその施設やイメージ、こういう特徴を持ったものにしたいというものをポロポーザル審査委員会の中で選んでいただき、それを令和４年に別途実施設計者の入札をするという形になるとご理解いただければと思います。その後、建築に入っていくということです。プロポーザル方式ということで、まず基準の条件を示してこれに基づいてそれぞれの設計会社が自分たちのアイディアや特徴を盛り込んで提案してもらうということになります。このように進めていくことになりますが何か皆さんの方でご質問ございますか。実際事業を進めていくのは教育委員会の学校教育係になるので、技術屋さんが必要になると思いますので、その辺は４月から技術屋さんを配置していきたいなと、増員して配置をしていきたいなと今のところ考えていますのでよろしくお願いしたいと思います。

吉越職代）
児童の安全安心、それから多様な学習に対応すること、児童クラブはもちろんですが、地域の方の利用や避難所として高齢の方にも対応できるようなことをたくさん盛り込んでいただいて、今想定できる限り可能ないろいろな想定をしながら選んでいかなければならないと改めて思っています。方向としては細かいところまで考えていただいてとてもありがたいと思います。１つ、地元民として懸念するところですが、城北中学校の場所を使うと体育館が無くなる訳ですよね。城北中学校はあの体育館を部活で便利に使っている。また、上のグラウンドも部活や体育の授業で使っていて、すぐ駐車場のところへ降りてこられて便利だったが、下のグラウンドを使うとなると教室からのアクセスも悪くなるし、体育館が無くなることによる今までの利用をどこへ移動するかとかそういうことも気を付けて進めていただけると有難いと思います。

教育部長）
旧三中の体育館の取壊しは令和４年で考えているのですが、これから基本設計をやるのでどういう配置にするかというところはあると思いますが、旧三中の体育館の取壊しを遅らせることができるようであれば遅らせて、基本的には最後は新しい小学校の体育館を使うというイメージにしているので、新しい小学校の体育館を中学生の部活や社会体育に使うということも想定しています。なので、どうしても新しい体育館ができるまではブランクが出てしまうので、どういうふうにしていくかということは考えていかなければいけないと思っています。

市長）
他にどうでしょうか。よろしいですか。それではこのような段取りで進めさせていただきますのでよろしくお願いします。

３）岳北地域高校の魅力づくり研究協議会要望について　　【資料２】
事務局から説明

市長）
これは、研究協議会の組織がありまして、全体会3回と飯山高校部会4回、農林高校部会4回とそれぞれ分かれて検討していただき、まとめると非常にコンパクトですがいろいろな意見をいただきました。農林高校部会のは農林高校部会でまとめものを掲載してございます。飯山高校部会については市としますと、実際は進学校であるが探究科が大学進学のための重点学科だが、一般にはそう受け止められていないというようなご意見もあったりするのですが、これからは知識を覚えるだけではなく、探究する力がとても大事なので、もっと力を入れるということを掲載しています。探究の専門の先生はいらっしゃらないということだが、外部の力も借りて教員の加配をしてくださいというようなこと、またスポーツ科については充実してくださいということです。今回もスキーは全国優勝をし、野球も一昨年は甲子園出場と非常に成果を残していますのでね。これはそれぞれの議会に報告するのですが、この前の委員会の中でも議会で出た意見をどういうふうにするのかということがあったが、農林高校についても議員さんの中にはいろいろな意見があるというんです。その意見をここに盛り込むのは大変なので意見は意見として聞いておいてこれはこれで出すということをこの前の研究協議会の中で方向付けがされました。引き続き協議会は令和3年度も実施して県教委の方の実施の経過をしっかり見ていったり、市町村として支援するようなもんは具体的にできることがあるのかというようなことについても、これとは別に課題がありますので、協議していかなければいけないかなと思います。予算の関係もありますので関係する市村で連携してやっていきたいと思います。何かみなさまの方でご意見ございますか。この協議会の中で出てきたのが、義務教育との連携といいますか、高校教育との連携をしっかり強めていく必要があるのではないかということで、義務教育の基礎的な力を付けて、高校へ連携していくという意見も出ていました。

教育長）
飯山高校の最大の課題は、ここで第3期の SSH を申請したのですが、それが外れた場合に非常に厳しくなると思います。全く特徴が無くなってしまう。探究する生徒はどこの学校にもいるようになるので、SSH が外れた場合にどうやって飯山高校の独自性と特色を出すかというのは非常に課題だと思います。厳しいのではないかと予測されています。予算も来なくなるのでいろいろな講習会や学習会等みな影響してしまう。それと新しいカリキュラムも発表されたがなかなか探究科について普通科スポーツ科それぞれでやるが単位数が違いますので課題があるなと思います。もう1つは、先生方の意識をどう統一してやっていくかも大きな課題だと信大の先生からもズバリ指摘されました。どこの高校も探求に対する先生方の意識改革は思うように進まなくて困っていると、それは義務教育でも実際の授業が変わっていかないという課題と同じ苦しみでもあると感じながら聞いていました。以上です。

市長）
他に何かありますか。よろしいですかね。いずれにしてもこれは30日に原山教育長に会って話をしていきたいと思います。これについてはよろしいですかね。
これで議題は終わりましたが何かございますか。

子ども育成課長）
　来週25日には保育園の卒園式がございますので、詳細については来週の定例教育委員会の時にまたお願いいたしますが、併せまして飯山のあきは保育園が3月末で閉園となりまして、4月からは新しいしろやま保育園になるということで3月25日の卒園式後に閉園式を行わせていただきます。ただ、こちらはコロナ禍ということでできるだけ参加者を絞り、時間を短くという形で考えておりますが、閉園式なので足立市長、市議会議長、上町の区長さん等ある程度ご来賓もお呼びして、全園児、全保護者が出席しての閉園式を行わせていただきますのでよろしくお願いします。
　その他委員のみなさまから何かございますでしょうか。

市長）
　常田部長も3月で定年退職となりますのであいさつをお願いします。

教育部長）
　この3月をもって定年退職となります。教育委員会につきましては、子ども育成課長を1年、教育部長を3年ということで4年間お世話になった訳でございますが、長瀬教育長を一緒に教育行政を進めさせていただきました。いろいろ課題が多い時でございましたが、何とかここまでこれたなと思っております。それに付けては、教育委員さんに本当にご支援ご協力をいただいてここまでこれたと感じています。本当にありがとうございました。

子ども育成課長）
　それでは、以上をもちまして第3回の総合教育会議を閉じさせていただきます。お疲れ様でした。